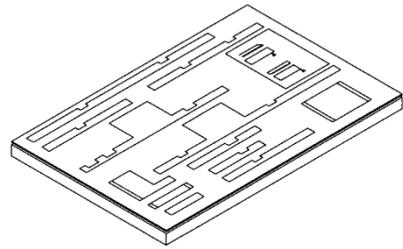


## 2 基礎の作り方

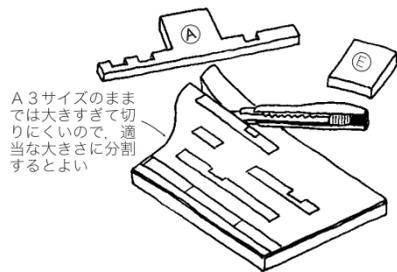
付録の「型紙1」と、A3サイズのハレパネ(5mm)を用意する。



ベースを作った時と同じ要領で、のハレパネに型紙を接着する[⇒ p.24, ~ ]。



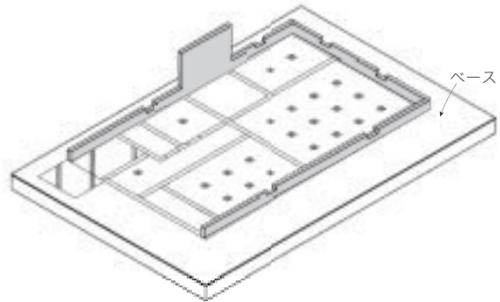
をそれぞれの大きさに切り分ける。



A3サイズのままでは大きすぎて切りにくいので、適当な大きさに分割するとよい



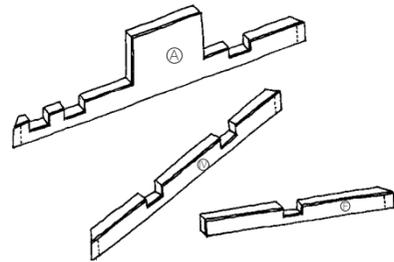
キーブランの記号(型紙右中央図)に合わせて、ベースに基礎を木工用ボンドで接着する。



模型をつくる 2 3 (⇒ p.27)の順序に従って完成させる。  
(付録「参考図2」参照)

●基礎の上に床組を取り付ける時に、基礎と床組の間に隙間を作らないために、切り口は直角になるようにカットしよう[⇒ p.25, ハレパネのカット方法]。

45°カットが必要なもの[⇒ p.25, 45°のカット方法]  
型紙の記号 ○ ○ ○ ○ ○ ○ (A) (E)



p.24で作ったベースを用意する。

**接着面を木工用ボンドで接着する**

ボンドが固まるまでテープで留めておいたほうが、より安定する。

ボンドを接着面からはみだすほど塗ると、テープまで固まり、剥がせなくなるので、要注意。

ボンドは薄く塗るほうが、接着面に強度がでる。

2 で用意する物.....スチレンペーパー(3mm)

3 で用意する物.....スチレンペーパー(3mm)

檜棒(3×3)

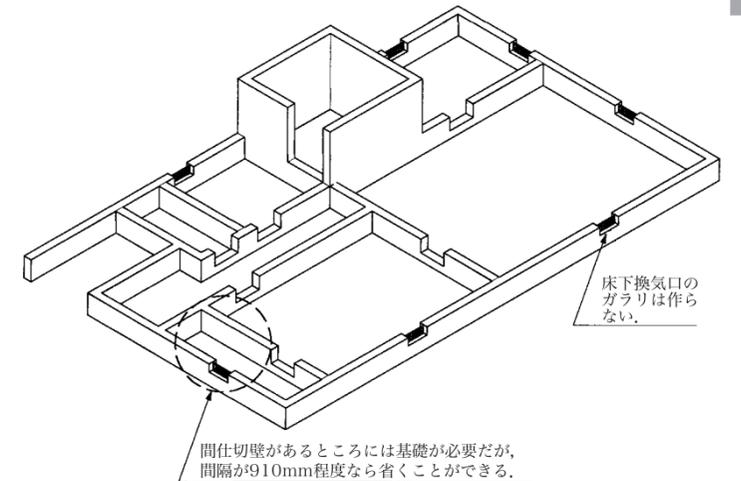
## 模型をつくる

1

### 基礎をつくる

付録「参考図2」 「型紙1」

材料: ハレパネ 5mm



### 束石・土間コンクリートをつくる

束石 付録「参考図2」

材料: スチレンペーパー 3mm

サイズ 7mm × 7mm × 3mm (厚さ)

土間コンクリート

付録「参考図2」

材料: スチレンペーパー 3mm

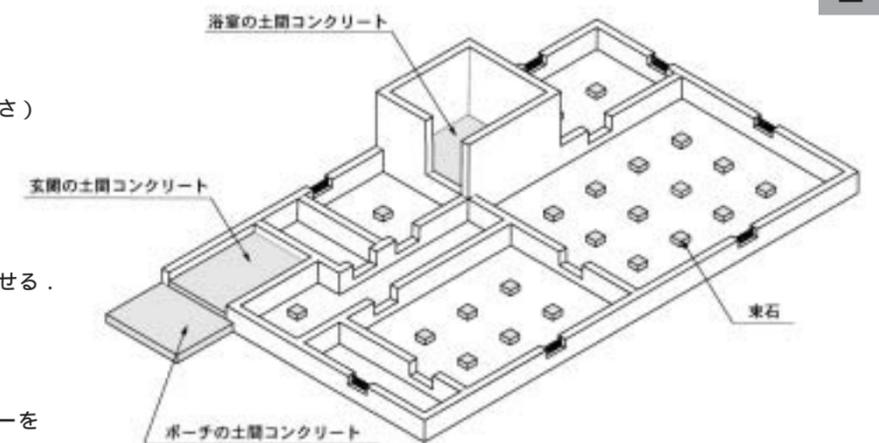
サイズ: 型紙の大きさに合わせる。

ポーチ 厚さ 3mm

玄関 厚さ 6mm

浴室 厚さ 3mm

玄関のみ、スチレンペーパーを2枚重ねる。



2

### 束を立てる

付録「参考図2」

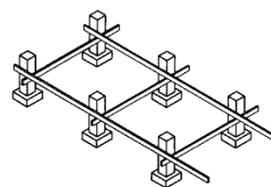
材料: 檜棒 3×3

サイズ(高さ): 下記

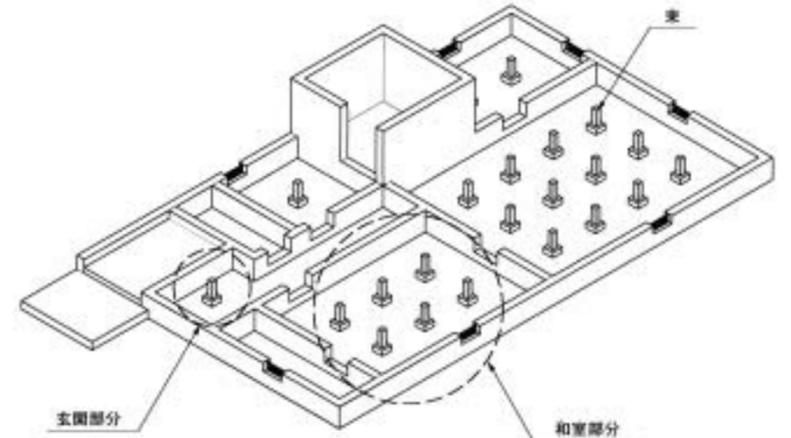
(和室・玄関 束の高さ 約 9.5mm

上記以外 束の高さ 約 10.5mm

根がらみ貫



束の移動を防ぐため、それぞれを連結した貫材。模型では表現しない。



3